



公立？ 私立？

高校には国公立と私立の2種類があります。簡単に言うと、国や都道府県・市町村が運営している学校が国公立、企業（法人と言います）が運営している学校が私立です。松中の近くで言えば、報徳学園、園田学園、甲子園学院、大商学園、英真学園などが私立として挙げられます。

私立は法人が運営しているため、公立学校以上に特色ある学習内容を独自に構築しているのが特徴です。また、公立学校にない「男子校（報徳学園など）」や「女子校（園田学園、甲子園学院など）」が存在しているのも特徴と言えるでしょう。学校によっては大学へ内部進学できるような学校もあります。

昨年度の伊丹市の状況を見てみると、全卒業生1,661名中、高校進学者は98.6%と、多くの先輩が高校進学をしていることがわかります。さらに詳しく見てみると、国公立高校（全日制）進学率は64.8%、私立高校（全日制）進学率は20.9%となっています。国公立高校への進学者が多いですが、ここ3年ほど、5人に1人は私立へ進学している状況も続いています（別表参照）。かつてよりも私立進学者が増加している背景には兵庫県の授業料補助制度があると考えられます。この制度については改めて進路通信で扱います。

さて、公立高校（県立・市立の学校）と私立高校の大きな違いは、運営者の違いに加えて「学区」の有無も挙げられます。学区とは、受検できる学校の範囲のことです。伊丹市は「第2学区」となり、昨年も多くの人がこの範囲の学校に進学しました。第2学区とは伊丹市、尼崎市、宝塚市、西宮市、川西市、三田市、丹波篠山市、丹波市、猪名川町の8市1町のことを指します。普通科・総合学科はこの第2学区内から選択しますが、兵庫県立国際高等学校や神戸市立科学技術高等学校など、専門学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉など）を持つ学校については第2学区以外の高校も受検可能です。一方、私立にはこの学区制がなく、全国どこの学校でも受験することが可能です。

公立、私立、それぞれに良いところがあります。以前からお知らせしているように、学校説明会などに参加してそれぞれの魅力を体験してみましょ

伊丹市内 3年間の進学状況（公立・私立）

	R3年度	R2年度	H31年度
国公立進学率	64.8%	64.3%	65.3%
私立進学率	20.9%	22.5%	22.8%

※進学率は伊丹市内の
進学者/卒業生数
で計算しています

通信制 進学者増えてます

通信制とは、全日制や定時制の学校とは異なり、自宅での自学自習を中心とした学習で高校生活を送る学校のことです。基本的に学校から与えられた課題に取り組み、レポートを提出することで卒業のための単位を取得します。学校によってはレポートだけでなく、中学校のように定期テストを行うところもあります。また、登校（スクーリングと言います）する回数も学校によって異なり、週に数回登校する学校から、学期に1度だけ登校する学校まで、様々です。

近年では、ニコニコ動画などで有名な株式会社ドワンゴが運営する「N予備校」のシステムを利用しているN高等学校（学校法人角川ドワンゴ学園）が、東大・京大などのいわゆる難関校に進学する生徒を輩出したことが話題になりました。

伊丹市内の動向を見てみると、H30年度は6.7%、H31年度は6.8%でしたが、一昨年度（R2年度）は8.9%、昨年度（R3年度）は8.7%と、通信制の学校へ進学する割合が増加しています。

通信制の学校を選択する生徒は様々です。働きながらも学びたいと願う人、自分の時間を学校以外の活動に使いたい人、人との関わりが少し苦手な人、学校になかなか通えない人…。様々な事情がありますが、間違いなく言えるのは、どんな人にも学ぶ機会が用意されているということ。通信制は自学自習が中心であるために、根気が必要な道ではありますが、十分選択肢の1つとして考えることができるのではないのでしょうか。

公立高等学校のOHSについて

先日、今年度のオープンハイスクール（OHS）・学校説明会をまとめた冊子、「松中進路ナビ」を配付しました。今後の学校見学の予定を立てるための参考に使用してください。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、唐突な予定変更も十分に考えられます。兵庫県教育委員会のHPや、各高等学校のHPで開催予定を確認してください。（右QRコードは県教育委員会HPです）

